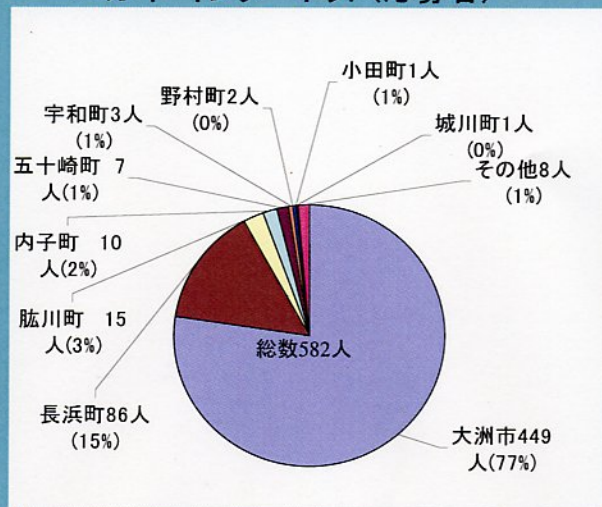


肱川流域住民の意見聴取の概要

手段	実施日	集計値
1 ハガキ・インターネット	1.23~2.27	応募者582人 (ハガキ573通、インターネット9通)
2 意見交換会	2.2~2.6	5回 参加者758人(意見発表者47人)
3 公聴会	2.27	公述人応募者24人(公聴人10名) 傍聴者175人
4 肱川の河川整備に関する 情報コーナー	1.8~3.3	11日間(計24回) 参加者143人
5 出前講座	11.28、1.13、 2.17、2.28	4回 参加者160人

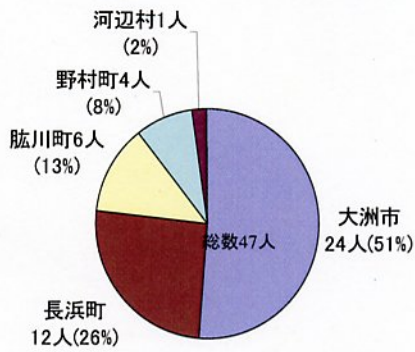
ご意見を頂いた方の住まいの市町村

ハガキ・インターネット(応募者)

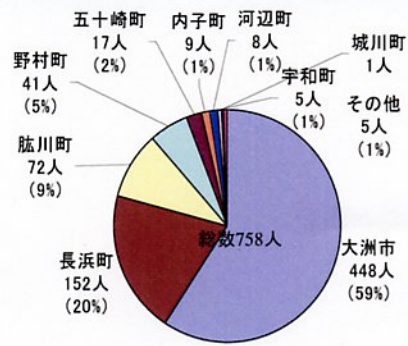


ご意見を頂いた方の住まいの市町村

意見交換会(意見公述者)

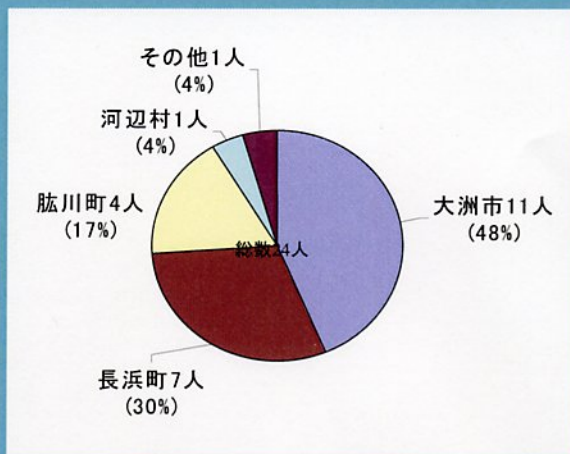


意見交換会(参加者)



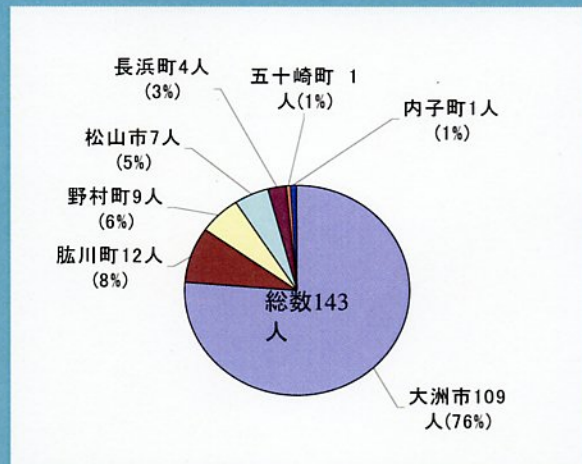
ご意見を頂いた方の住まいの市町村

公聴会(応募者)



ご意見を頂いた方の住まいの市町村

情報コーナー(参加者)



流域住民から寄せられた意見(暫定版)

現在、詳細に整理中

- 整備計画の内容に関して、
 - ・ 治水安全度の向上に期待するご意見が最も多い。
 - ・ 環境にも配慮しながら進めて欲しいとのご意見も多い。
- 清流の復活に関して、
 - ・ アユが住める川・安心して泳げる川にとしてなど、水質の改善に関するご意見が多い。

流域住民から寄せられた意見(暫定版)

主なもの(趣旨)の紹介①

1. 全般的なこと

- ・もっと高い安全性を
- ・小田川も対象とすべき
- ・既設ダムと堤防で対応可能ではないか
- ・3ダムと堤防で
- ・できるだけ早い整備を
- ・水質改善が必要
- ・自然環境に配慮して
- ・森林整備をすべき
- ・流域全体で汚濁負荷対策を

流域住民から寄せられた意見(暫定版)

主なもの(趣旨)の紹介②

2. 河道に関すること

- ・早期に自地区の河道整備を
- ・内水対策も必要
- ・河口砂州が問題
- ・史跡(肱川大橋、江湖の港等)に配慮を
- ・用地等の住民負担は極力少なくして
- ・桜づつみや河川公園の整備を
- ・河道整備が自宅にどう影響するのか不明

流域住民から寄せられた意見(暫定版)

主なもの(趣旨)の紹介③

3. ダムに関すること

- ・ 早期にダム建設を
- ・ ダムは必要ない
- ・ 既設ダムの水質や堆積物の対策を
- ・ ダムは環境に悪影響を与える
- ・ ダムは一元管理を
- ・ 付替県道の整備が進んでいない
- ・ 水没地のことも考えるべき